

『英和対訳袖珍辞書』再版に増補された 漢訳語の出自をめぐって

肖 江 楽

1. はじめに

近代訳語の研究にあたって、日本初の本格的な英和辞書と言われる『英和対訳袖珍辞書』は、語史調査手順の一環として欠かせないほど重要である。よって、訳語がいかなる状況のもとで成立し、そしてどのように変化し、さらにそれ以降の対訳辞書にどのように受け継がれていったのかといった研究が数多くなされてきた。たとえば、惣郷正明氏（1988年）は、『英和対訳袖珍辞書』初版の複製本に「慶應2年再版では、その24%に近い8千2百語について、大幅な訳語の加除・訂正が行われている」という推測を付け加えると同時に、「機会があれば、再版との異同の語彙表を出版して、欠を補いたいと念願している」との課題を打ち出している。

この課題を解決すべく、筆者は全面的に初版と再版との異同語彙のすべてを抽出し、そして検索しやすくするために、これらの異なる訳語を電子テキスト化した⁽¹⁾。本稿では、主に筆者が作成したこの電子テキストに基づき、再版原稿資料を含めながら、新たに増補された漢訳語の出自をめぐって、考察・検討することにした。

2. 初版と再版との異同語彙表

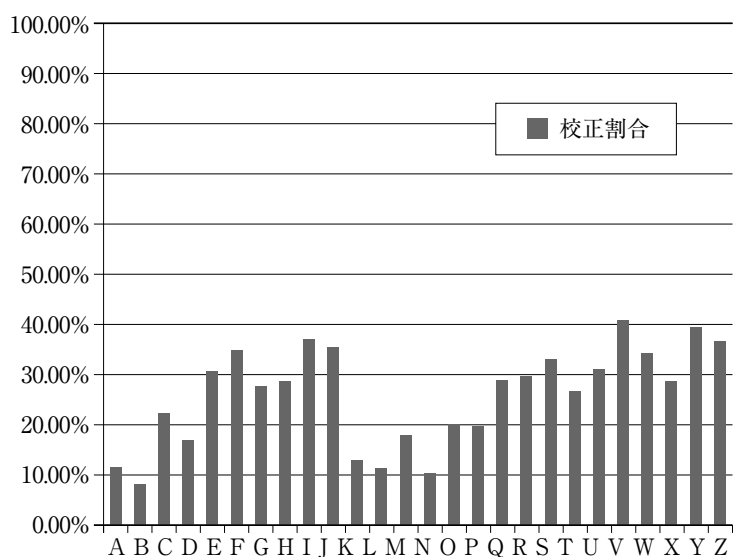
筆者が独自に作成した電子テキストによって、再版において初版と異なる訳語となっている箇所について、アルファベットの頭文字別に、改訂箇所の割合を具体的にまとめておく。その結果は表1の通りである。

また、参照しやすくするために、表1のデータを踏まえ、グラフ1を作成した。

表1から見て分かるように、AからZまでの項目では、Vが著しく改訂されていて、その割合は40.82%にのぼっている。それに次ぐのは、Yの39.50%とIの37.03%である。そして、今回の調査により、見出し語の総数の四分一（約8083語）に手が加えられて、辞書全体の校正割合は24.64%であったことが判明した。特に、グラフ1に見られるように、改訂箇所の割合が相対的に高いアルファベットの項目「V・Y・I・Z・J・F・W」は、遠藤（2009）の初版の成立に対する指摘「メドハースト『英華字典』をあまり参照していない項目」とほぼ合致している⁽³⁾。換言すれば、メドハースト『英華字典』を参看していない項目は、再版の際に大幅に改訂されたことが見て取れるだろう。

表 1

項目	番号	見出し語の総数 ⁽²⁾	校正箇所	校正割合	割合順番
A	1～225	1,933	225	11.63%	23
B	226～355	1,588	130	8.18%	26
C	356～1037	3,072	682	22.20%	17
D	1038～1376	1,994	339	17.00%	21
E	1377～1778	1,312	402	30.64%	10
F	1779～2301	1,502	v523	34.82%	6
G	2302～2556	921	255	27.68%	15
H	2557～2860	1,059	304	28.70%	13
I	2861～3490	1,701	630	37.03%	3
J	3491～3582	259	92	35.52%	5
K	3583～3605	177	23	12.99%	22
L	3606～3722	1,026	117	11.40%	24
M	3723～4030	1,713	308	17.98%	20
N	4031～4089	565	59	10.44%	25
O	4090～4260	850	171	20.11%	18
P	4261～4814	2,810	554	19.71%	19
Q	4815～4869	190	55	28.94%	12
R	4870～5367	1,676	498	29.71%	11
S	5368～6545	3,574	1,178	32.96%	8
T	6546～6970	1,590	425	26.72%	16
U	6971～7491	1,674	521	31.12%	9
V	7492～7709	534	218	40.82%	1
W	7710～8038	958	329	34.34%	7
X	8039～8040	7	2	28.57%	14
Y	8041～8072	81	32	39.50%	2
Z	8073～8083	30	11	36.66%	4
合計	8083	32,796	8,083	24.64%	



グラフ 1

3. 再版原稿資料の紹介及び解説

『英和对訳袖珍辞書』初版及び再版の編纂原稿資料は、2007年に群馬県高崎市の古書店主・名雲純一氏によって奇跡的に発見された⁽⁴⁾。これまで、三好彰（2007）、櫻井豪人（2007）、堀孝彦・三好彰（2010）はこの原稿資料に基づいて、いろいろな研究成果を公に挙げていた。筆者はこの原稿資料に解説を行い、発見された草稿の段階では初版だけではなく、再版にもメドハースト『英華字典』の影響が色濃く残っていたことを立証した⁽⁵⁾。詳しい紹介は拙稿（2018）を参照されたいが、ここではメドハースト『英華字典』から取り入れた、新たに増補された漢訳語を表2に掲げておき、その訳語の変化様子の一端を描き出すことにしたい。

表2

見出し語	初 版	メドハースト 『英華字典』	再 版 原 稿	再版刊行本
Acanthus	草名未詳	萇花芳	萇芳花	○
Agrimony	草名未詳	龍牙菜	龍牙艸	○
Alder	木ノ名未詳	赤楊	赤楊	○
Dolphin	魚名	海豚	海豚魚	○
Dolt	不作法ナル男	愚人	愚人	○
Double	重リタル。欺ク。	兩倍。二心	重リタル。二倍ノ。二心アル	○
Drain	泥ノ流シ込マヌ様ニ水ノ下ニ堀テアル溜池。水堰ノ付タル水溜。小堀	溝渠	溝渠。水ハキ	○
Exact	細密ナル	精密	精密ナル	○
Fair.s	年々一度ズツ有ル市	美女、美麗	年々一度ズツ有ル市、美女、美麗。美人	○
Fair.adj	立派ナル。黄ハミテ居ル。善キ。恵ミアル。結構ナル。和ラカナル	美、美麗、正直	美キ。奇麗ナル。明カナル。善キ。恵ミアル。正直ナル。和ラカナル	○
Famished	飢シメル。カツヘル。兵糧攻メスル	餓死	飢シメル。カツヘル。餓死スル	○
Granite	大理石ノ類	花剛石	花剛石	○
Grub	面部ニ生ズル小キ吹出物。葉虫ノ小巢。侏儒	蟻螻	面部ニ生ズル小キ吹出物。蟻螻。侏儒	○
Hanging	掛テアル物。毛壇ノ類	Hang 縊死	掛テアル物。毛壇紙等ノ類。縊死。顯シ	○
Hogshead	量目ノ名	大桶	量目ノ名大桶	○
Holly	樹名	狗骨	枸骨	○
Hollyhock	草名	蜀葵	蜀葵	○
Hoof	馬爪	蹄	蹄。獸	○
Idol	仏	神像	神像。本尊。像	○
Illiberal	賤シキ。限ラタル。不都合ナル。臆病ナル	吝嗇	Illiberality 小器ナル。吝嗇ナル。限ラシタル。	○
Inadvertence	賤ム	怠慢。不覚	怠慢。輕慢。氣付ヌ。	○

表2に掲げた新たに増補された訳語の傾向として、次の三点を挙げることができる。

3.1 植物・動物・鉱物・度量衡に関する語が著しく修正された

蘭学を基礎とし、幾多の困難を切り抜け、ようやく花を咲かせた『英和对訳袖珍辞書』初版は、底本とされる「蘭和辞書」にある「Hogshead, 量目ノ名」、「Hollyhock, 草名」のような見出し語に対して適切な訳語が見出せなかったため、そのままにして刊行された。しかし、再版を改版する際、さまざまな資料を参照したことによって改善されていったことは明らかである⁽⁶⁾。今回、原稿資料の解説により、メドハースト『英華字典』にある訳語がそのまま再版の編纂者に取り入れられた訳語（蜀葵、大桶）もあれば、訳語に修正を加えて改変された訳語（萸花芳、海豚）もあることが見受けられた。これは辞書序文に提起された柳川春三・田中芳男らが、先人の著訳書を読むことによって得た訳語の知識を持って校正されたものであると想像される。

3.2 メドハースト『英華字典』からそのまま取り入れた訳語

今回、筆者が作成した初版と異なる異同語彙表により、再版の訳語が再び激しく改変されたことは明らかである。上記の表2に掲載された「溝渠」、「愚人」、「餓死」、「二心」、「精密」などの訳語はメドハースト『英華字典』から出自を求められていることから、そこから借用されたものである考えられる。拙稿2017で考察したように、『英和对訳袖珍辞書』初版において、発見された草稿の段階では、辞書初版が刊行する前に幾度となく校正された点を考慮すると、「蘭和辞書」は再び改訂増補版に大きく影響を及ぼしたとは考えにくい⁽⁷⁾。これは即ち、開成所が当時日本全国に呼びかけ、集められた錚々たるメンバーたちが、底本とされる「蘭和辞書」の訳語を満足せず、訳語の精度を高めるために、手元にある有益な資料——メドハースト『英華字典』を使い、命を削る思いで突貫作業をして初版の訳語に再修正を加えたという行為にほかならない。

3.3 最初増補され、再び削除された訳語

表3

資 料	Fair	過 程
初版	年々一度ズツ有ル市	①借用 (『メ氏辞書』) 美女。美麗 ↓
メドハースト『英華字典』	美女。美麗	
再版原稿修正前	年々一度ズツ有ル市。美女。美麗	②修正 美人。美麗 美女。美麗 ↓
再版原稿修正後	年々一度ズツ有ル市。美人	
再版刊行本	年々一度ズツ有ル市。美人	③決定 美人

表3は、再版原稿の訳語を校正する際、初版の上にメドハースト『英華字典』に見える「美女」、「美麗」を直接に追加した例である。しかし、これらの訳語は再版では採用されず再び削除され、改めて消した訳語の傍らに「美人」を書き入れ、最終的に「美人」が再版刊行本の訳語として収録されている。その以外に、見出し語：Idol^{本尊}—^{神像}、Inadvertence^{輕慢}—^{怠慢}も同じような情景が見受けられる。このように、最初に増補され、再び削除された訳語はメドハースト『英華字典』と一致するため、そこから借用されたものであると考えられる。ただし、校正者が、メドハーストの訳語をそのまま受け継ぐことなく、意図的に「美女→美人」、「神像→像、本尊」、「怠慢→輕慢」と改変を加えていく過程はどのように解釈すべきであろうか。改訂された訳語が、削除された訳

語との関係を深く吟味すればするほど綿密に繋がっており、修正しなくても日本語として使用可能である。なぜ再修正を行ったか、この点は如何にも不思議なところである。

ごく一部ではあるが、初版原稿から刊行へ、そして再版原稿から刊行までの訳語が、どのように変更されてきたのか、原稿資料の解説によって、その変化様子の一端を垣間見ることができたとと思われる。

4. 再版に新しく増補された漢訳語 ― 主に二字漢語を中心に

今回、筆者が独自に作成した電子テキストを利用して、再版に新たに増補された漢訳語の正体を容易に把握することができるようになった。本稿ではメドハースト『英華字典』と一致する二字漢語を拾い上げて吟味することにしたいが、時間の関係で、再版序文に提起された植物・動物・鉱物・度量衡に関する語は研究対象としない。その結果は表4の通りである。

表4

見出し語	初 版	再 版	メドハースト 『英華字典』
Brain	脳。才智。思慮。	脳。才智。思慮。腦漿	腦漿
Check	押へ付ケルヲ。衝キ当リ。非難。損亡。難儀。手形ノ書判。基盤形ノ毛皮	妨ケ。禁止。印シ留メ。王手(将棋遊ノ)。家来ノ人別帳。縞ノ布	禁止
Connate	全時ノ生ナル。相続ノ	全時ノ生ナル。双生ノ	雙生
Copper	銅。葉罐	銅。葉罐。銅錢	銅錢
Conversion	改心。改変。向ケ真スヲ	改心。改変。向ケ真スヲ。變化	變化
Cutter	仕立屋。鄙陋ナル小屋	切ル人。切ル道具。快船	快船
Custom	風儀。習慣。規則。店商ヒ。運上	風儀。習慣。風俗。店商ヒ。運上	風俗
Disappointment	空ニスルヲ	空ニスルヲ。失望	失望
Dolt	不作法ナル男	愚人	愚人
Double	重リタル。欺ク。	重リタル。二倍ノ。二心アル	兩倍。二心
Drain	泥ノ流レ込マヌ様ニ水ノ下ニ堀テアル溜池。水堰ノ付タル水溜。小堀	溝渠。水ハキ	溝渠
Dutiful	用ヲ達シヤフトシテ居ル。嫌テ居ル	用ヲ達ス。順從ナル。嫌テ居ル	順從
Effulgence	光沢	光輝	Effulgent 光輝
Empress	女帝	女帝。皇后	皇后
Ephemerides	一日ニテ死スル虫。星学ノ表	日記。星学ノ表	Ephemeris 日記
Equitable	神妙ナル。廉直ナル	公平ナル。正直ナル	公平
Exact	細密ナル	精密ナル	精密
Expressive	嚴重ナル。聡トシタル	明白ナル。聡トシタル	Express 明白
Fair	立派ナル。黄ハミテ居ル。善キ。恵ミアル。結構ナル。和ラカナル	美キ。奇麗ナル。明カナル。善キ。恵ミアル。正直ナル。和ラカナル	Fair and square 正直
Famished	飢シメル。カツヘル。兵糧攻メスル	飢シメル。カツヘル。餓死スル	餓死
Fervency	性急。好キ凝リ	性急。好キ凝リ。熱心	a Fervent mind 熱心

見出し語	初 版	再 版	メドハースト 『英華字典』
Flash	光沢。光輝。失。甚ダ。薄ク延シタル黄金ノ延板	閃光。激スル水。小池。隱語。発裂	閃光
Flat	平面。タワイモナキ考へ。益ニタタス人。音楽ノ語ニテ声ヲ低クスル印	平面。平地。底ノ早タキ小舟。欺カレ易キ人。音楽ノ語ニテ声ヲ低クスル印	平地
Flint	海辺ニ晒サレタル円形ノ石。火打チ石	火石	火石
Glance	耀ク。キラキラスル。色目遣スル	耀ク。斜ニ飛ブ。瞥見スル	瞥見
Hanging	掛テアル物。毛壇ノ類	掛テアル物。毛壇紙等ノ類。縊死。顯シ	Hang 縊死
Illiberal	小器ナルヲ。臆病ナルヲ。限ラレタルヲ	小器ナルヲ。吝嗇ナルヲ。限ラシタルヲ	Illiberal 吝嗇
Influence	感ズル。進マセル。引入レル	感ズル。進マセル。感動スル	感動
Ingenuity	才智。巧者ナルヲ。藝術	才智。巧者ナルヲ。奇巧	Ingenious 奇巧
Letters	孝バレタルヲ	文孝	Belle-letters 文學
Literature	字知り	文字	文字
Midsummer	夏ノ中比 (大抵第六月廿一日比)	夏ノ中比 (大抵第六月廿一日比)。夏至	Midsummer day 夏至
Poison	毒殺スル	毒害スル。傷ナフ	毒害
Privacy	秘密。唯一人居ルヲ	秘密。唯一人居ルヲ。隱居	隱居
Prodigy	珍ラ敷キヲ。驚クベキヲ	珍ラ敷キヲ。驚クベキヲ。怪物	怪物
Prostitute	徒ラナル女。雇ヒ人	徒ラナル女。雇ヒ人。娼妓	娼妓
Protestation	駭ト逆フテ言フヲ。証拠立ルヲ	駭ト逆フテ言フヲ。説明カスヲ	To protest 説明
Pulsation	動脈。心臓ノ動	脈動。心臓ノ動	脉動
Queen	女王	女王。王后	王后
Question	問ヒ。題	問ウヲ。問ヒ。吟味。争ヒ。疑ヒ。拷問	考問。盤問。問話
Remembrance	思ヒ出スヲ。考へ。遺物	思ヒ出スヲ。記憶。記念。覚書	Remember 記念。記憶 Remembrance 記念
Reputation	尊恭。佳名	名誉。聲名	名聲。名節
Revivification	再ヒ氣ヲ引立ルヲ	再生サスルヲ。金属ヲ還元サスルヲ (化学ノ語)	to revive 再生
Ridge	山脊。高サ。巔。帆船ノ端。軒	山脊。脊。高所。畦。屋脊	屋脊
Right	廉直ナルヲ。捌キ方。右手	正シキヲ。道理。当然。免許。権。	道理。
Robustness	強サ。勢ヒ	強サ。壯健	Robust 壯健
Room	場所。室。原因。時機	場所。室。空所。時機	空處
Rover	漂泊スル人。漂泊スル海客	漂泊スル人。海賊	to rove a sea-rover 海賊
Sally	脱落スル	脱出スル。突出スル	突出
Scale	天秤。調子ノ次第ニ替ルヲ。鱗。剥片 (鉄象牙ナドノ)	天秤。調子ノ次第。城乗。鱗。剥片。階級。物差シ。度ヲ盛タル物	階級
Scholion, Scholium	書付ルヲ	註解	Scholium 註解

見出し語	初 版	再 版	メドハースト 『英華字典』
Scruple	困難。大儀。量名	猶豫。狐疑。量名	狐疑
Shake	激動	震動	震動
Simplicity	単一ナル。益ニタタス	単一ナル。益ニタタス。質朴	Simple 質樸
Size	大サ。度。口径。形容。膠	大サ。度。口径。形容。 膠水	膠水
Sly	横着ナル	横着ナル。狡猾ナル	狡猾
Statute	造り建タル物。法	法度	法度
Suffice	充分ニアル。行届ク	充分ニアル。行届ク。 満足サスル	Sufficient 満足
Swing	震動。衝キ。振り廻シ。意味。感 応。手早キ	震動。衝キ。振り廻シ。動ク勢。鞦 韆	鞦韆
Train	教ル。武術ヲ学ブ。引キ入ントス ル。引キ摺ル。共ニ引ク	教ル。繰練スル(武術ヲ)。馴ラス。 誑誘スル。引キ摺ル。誘ク。引ク	操練
Travel	旅	旅。歩行	歩行
Traveler	旅人	行人。旅人	Passenger Traveler 行人
Trendle	枢軸	小輪	小輪
Triple	三重ニスル。三通ニスル	三重ニスル。三倍ニスル	三倍
Tyranny	猛悪。無理非道	猛悪。無理非道。虐政	Tyannical 虐政
Unfaithful	不和熟ノ。不信用ノ	不信実ノ。不信ノ	不誠實、不信
Universe	六合	宇宙	宇宙
Uprightness	廉直ナル。真直ナル	正直ナル。真直ナル	Upright 正直
Uttermost	外ノ	至極ノ	至極
Valour	猛勇ナル。男ラシキ	勇氣	勇氣
Vein	脈。才能。気色	脈絡。脈管(動物又草木ノ)。條理 (石類ノ)	脈絡
Venerate	面目ヲ与フル。進物スル	尊敬スル	尊敬
Vicious	悪キ。不徳ナル	悪キ。不善ナル	不善
Virtuousness	善	善徳アル	Virtue 善徳
Vulgar	通例ノ。一般ノ	俗人ノ。俗ノ。通例ノ。一般ノ。賤 シキ	俗人、俗、 賤
Vulgarism	通例解スル様ニ言フ。語法	鄙俗ナル。俗言	vulgar 鄙俗
Warmth	温サ。丹誠	温サ。丹誠。憤發。熱心	warm heart 熱心
Waste	荒ス。費ス。減ス。植付セ ズニアル地。失ヒ	荒ス。費ス。費。荒地。植付セ ズニアル地又失ヒ	waste land 荒地
Wether	天気	闖羊	闖羊
Wicked	不法ナル。悪キ。不徳ナル。悪心ナ ル	不善ナル。悪キ。罪アル。悪心ナル	不善
Wild	荒レ果タル。荒荒シキ。法外ナル	荒レ果タル。荒キ。野ノ。野生ノ。 粗野ナル	野。野生
Good will	鼻負	好意。善意	善意
Wintersolstice	二至	冬至	冬至

表4に示したように、再版に増補された訳語はメドハースト『英華字典』と一致するため、そこから取り入れられたものである。これまで、『英和对訳袖珍辞書』に与えた蘭和辞書の影響は明らかにされてきたが、「英華字典」と『英和对訳袖珍辞書』初版及び再版との関係をめぐっては、活発に論議されてきたと言いがたい。しかし、再版に新たに増補された漢訳語の一部の出自が、今回筆者独自に作成した電子テキストによって究明されたことで、来華宣教師が編纂した「英華字典」における近代日本初の英和辞書への創制及び発展に大きく貢献していることを改めて垣間見ることができたと思われる。

5. おわりに

本稿における初版と再版の比較を通して、再版に増補された二字漢語が多くメドハースト『英華字典』と一致していることを明らかにできたことは有意義なことであり、再版におけるメドハースト『英華字典』の利用については疑う余地はない。そして、約8000余りの語に対して大幅な改変がなされたということは、辞書自体のレベルがアップしたことは言うに及ばず、それ以降の辞書への影響、さらには日本英学史への発展に果たした役割が極めて大きかったことを意味しよう。

また、今回独自に『英和对訳袖珍辞書』初版と再版との異同語彙のすべてを電子テキスト化したことによって、見出し語の増補数、訳語の校正箇所、辞書訂正の割合などの変化が検索しやすくなったと考えられる。今後も、これらのデータを活用して、さらなる分析、研究を進めていきたい。

注

- (1) 筆者は改変された箇所のすべてをエクセルでリストアップした。2016年の8月からこの作業を着手し始め、ちょうど一年を経て、2017年の8月末無事に終了した。今後も改めてチェックを行い、何らかの形で公表する予定である。
- (2) 木村一 (2015) 32,796語『和英語林集成の研究』明治書院 (P190)
- (3) 遠藤智夫 (2009)『英和对訳袖珍辞書』と近代語の成立 港の人 (P175)
「A、B、C、D、E、H、K、N、O、T、V」の担当者は、『英漢字典』（メドハースト『英華字典』、この部分は筆者が追加したものである）をかなり参照しているが、その他の項の担当者は『英漢字典』をあまり参照せず『和蘭字彙』への依存率が高い」と指摘した。
- (4) 『ニュースボード』第68号には、原稿資料について下のような解説が記されている。
文久初版——横罫線ノ整版用箋（内一枚ニ「藩書調所」ト印刷）
B（1枚）・C（1枚）・D（8枚）・E（2枚）・F（1枚）
N（1枚）・R（1枚）・S（4枚）・T（2枚）
慶應再版一刊本ト同ジ鳥ノ子紙二印刷サレタ原稿
A（5～24頁 10枚） D（217～238頁 11枚） E～F（263～286頁 9枚）
G～H（337～360頁 12枚） H～I（361～384頁 12枚） I（389～402頁 7枚）
- (5) 拙稿 (2018)『英和对訳袖珍辞書』再版におけるメドハースト『英華字典』の利用——再版原稿資料を中心に『立教大学日本文学』第119号
- (6) 拙稿 (2018) を参照。
- (7) 『英和对訳袖珍辞書』初版におけるメドハースト『英華字典』の利用——原稿資料を中心に『立教大学日本文学』第118号。(ア草稿の準備；イ草稿の校正；ウ草稿校正後の修正；エ『メ

氏辞書』の参看；オ初版刊行本)

参考文献

- 惣郷正明 (1973) 複製版『英和对訳袖珍辞書』解説 秀山社
- 三好彰 (2007) 新発見『英和对訳袖珍辞書』の草稿および校正原稿の考察『英学史研究』40
- 遠藤智夫 (2009) 『英和对訳袖珍辞書』と近代語の成立——中日語彙交流の視点から 港の人
- 堀孝彦・三好彰 (2010) 解説『英和对訳袖珍辞書』原稿初版および再版 港の人
- 堀孝彦 (2011) 『開国と英和辞書』——評伝・堀達之助 港の人
- 陳力衛 (2012) 英華辞典と英和辞典との相互影響——20世紀以降の英和辞書による中国語への語彙浸透を中心に——『JunCture』3号 名古屋大学大学院文学研究科付属日本近現代文化研究センター
- 櫻井豪人 (2013) 『和蘭字彙』に見られない『英和对訳袖珍辞書』初版の訳語——その1: Medhurst 英華字典の訳語をそのまま用いている訳語『近代語研究』17 武蔵野書院
- 櫻井豪人 (2014) 『和蘭字彙』に見られない『英和对訳袖珍辞書』初版の訳語——その2: Medhurst 英華字典の訳語に改変を加えている訳語『国語語彙史の研究』33 和泉書院
- 肖江楽 (2017) 『英和对訳袖珍辞書』初版におけるメドハースト『英華字典』の利用——原稿資料を中心に『立教大学日本文学』第118号
- 肖江楽 (2018) 『英和对訳袖珍辞書』再版におけるメドハースト『英華字典』の利用——再版原稿資料を中心に『立教大学日本文学』第119号

付記

本稿は2019年3月25日の漢字文化圏近代語研究会（於北京外国語大学）における「『英和对訳袖珍辞書』再版に増補された漢訳語の出自をめぐって」をもとに論文化したものである。なお、本稿は2019年度広西高校中青年教师科研基礎能力提升項目の研究費補助金「近代日語的形成及其对汉语的影响研究」（課題番号2019KY0088, 和名：近代日本語の形成及び現代中国語への影響）の研究成果の一部である。

(しょうこうらく 広西師範大学講師)